

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600234		
法人名	医療法人 至慈会		
事業所名	グループホーム ほのぼの		
所在地	佐賀県杵島郡白石町戸ヶ里1831番地18		
自己評価作成日	令和元年9月26日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和元年10月16日	外部評価確定日	令和1年11月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当ホームは木造で落ち着いた空間で外庭には桜、セミの鳴き声、つつじ、アジサイ、かりん、もみじ、雪とリビングにある大きい窓より四季感じられ、周りは商業施設でもあり、環境に恵まれています。また、法人の母体が病院と連携しており随時担当医との連絡や入居者様急変時、当ホーム災害時にも連携を図れることが出来ています。病院の栄養管理部と連携図ることができ疾患や重度化による対応も可能でその方に応じた健康管理に努めています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は大通りに面し、周囲は民家や商業施設がある。母体は病院で、広い敷地内に老人施設があり、その一角に2ユニットがある。ユニットは渡り廊下で繋がり利用者は自由に行き来出来る。広い庭は木々が多く、利用者や家族が花を植え、季節の移り変わりが楽しめる。代表者は着任間もないが、職員とのコミュニケーションも良く、信頼関係を築き一丸となってサービスに努めている。理念に「常にその人らしさを大切に」を心掛け利用者は安心して暮らせるよう、また職員間においてもお互いを思いやり、困った時には助けあって日々ケアに努めている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフで理念の解釈はさまざまだが事務所に掲げ理念に基づいた支援を行っている。	スタッフが見やすいところ(事務所)に掲げているので常に目に入る為、各自が実践につなげて支援を行っている。	理念は分かり易く、事務所に掲示されている。「理念カード」を職員に渡し意識付けている。共有はミーティングや申し送りの際に確認されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流はないがドライブへ行ったり買い物に行ったりと地域の一員として触れ合っている。	日常的な交流はないが、敷地内に託児所もあり、年に数回行事ごとを行い、利用者さんたちの面会もあるため地域の人たちとの交流を深めている。	町内会には加入はしていないが、町内行事等は運営推進会議で情報を得ている。夏祭り、敬老会、餅つき等年間行事で地域交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事務所としては行っていないが個人的な付き合いの際活かしている。	地域貢献は出来ていないが、運営推進会議で認知症の方の支援を行えるように話を設ける様にしている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事前に年間日程を送付し2か月に1回運営推進会議を実施しており行政の方、民生委員の方、駐在所の方ご家族様より意見を頂いたり、地域の情報交換ができ振り返りや今後活かすよう努力している。	2か月に1回の取り組みを行い運営推進会議を行って地域の代表者さんたちとの意見交換が出来ている。	運営推進会議は双方から多くの意見交換がある。家族は交代して参加してもらっている。駐在所も毎回参加され、防犯、災害について話をされる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営会議に毎回参加して頂いており行事や取り組み対応等報告している。	運営推進会議を行いながら協力は築けている。	運営推進会議に役場の社会課から参加されるのでその際に相談や、空き情報等の報告をしているので出向くことは多くない。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的にホーム内で年に2回勉強会をしスタッフ全員が受けるよう日程を組み行ってる。	身体拘束委員会を設け定期的にホーム内で勉強会を行いながらスタッフたちの認識を高めている。	事務所に各種の教育委員会があり、勉強会を行っている。法人の研修に参加し拘束しないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は無く、外出願望の方には、声掛けしながら安全な暮らしを見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に年に2回の勉強会を行っている。ストレスチェック表にて管理したり職場でも言いやすい環境づくり努めている。	ホーム内で勉強会を行いながら、ストレスチェック表を設けながらスタッフ同士の言い合える環境作りを務めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に勉強会行っている。管理者だけでなくどのスタッフも説明できるもの同席したことのないスタッフもよう理解してもらうよう努めている。	ホーム内で定期的に勉強会を行いながら、利用者さんにも適している人が数名居られるのでその理解を務めるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	一定の職員で対応してもらい説明の不備がないようにしている。全職員への説明時留意点注意しているもの同席したことのないスタッフもおり今後も学ぶ機会を持って行く。	十分な説明を行っているが、特定スタッフが説明しているので全スタッフが説明できるように同席し学ぶ機会を作るようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、要望の箱を設けている。家族様、来客の方へはスタッフから話かけを行い意見を聞き考慮するよう努めている。	玄関先に意見箱を設け家族様や来客さんたちの意見を聞くように努めている。	意見箱も用意しているが、直接スタッフに言った方が早いので、状態、不安、体調等家族からの要望を聞いている。2ヶ月に1回「ほのぼの」のお便りを発行し、行事報告、スタッフの交代や募集など案内されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者に言える環境づくりを心掛け、ミーティングや委員会でも意見聞く機会を設け反映している。	常に管理者へ言える環境作りに努めており、ミーティングなどを開き意見を聞くように反映している。	ユニット内での異動がある。職員間の人間関係がいいので委員会やミーティングでは意見が多く出る。管理者は折をみて有給休暇の声掛けや困った事等に配慮し職員が働き易いように気配りされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見は尊重しつつ助言や注意点行う。勤務状態もなるべく5連勤にならない様努めている。希望休みや希望勤務にも柔軟に対応して職員の向上心を上げていけるよう努めている。	スタッフの意見を尊重し助言や注意すべきことを言えるような環境作りに努めている。勤務状態も希望になるべく沿って柔軟に対応し、職員間の向上心を高めるようにもしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来る限り研修の機会設けている。日々の入居者様との関わりの中で疑問点や不安な点ある時は管理者や中堅職員サポートするよう努めている。	出来る限り皆さんに研修の場を設けており利用者さんたちの関わりの中で疑問や、不安を感じたら管理者や中堅職員のサポートをする様に努め働きやすいようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3か月に1回地域連携協議会を開き主に管理者が出席している。年1回の講師の先生招き勉強会実施し交流する機会を設けている。	3ヶ月に1回グループホームの地域連携協議会を開き、年に1回講師の先生を招き勉強会を開いている。意見交換も行い交流する場も機会を設けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前に情報提供書を配布し情報共有し入居者様の訴えに耳を傾け日々の変化や気づきも申し送りできるだけ本人様の意見尊重するよう努めるように全職員へ声掛けし努める。	入居前事前に情報提供書を共有し利用者さんの訴えや不安を聞き日々の変化等を気づき伝えることが出来るように全スタッフに声かけし理解するように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の家族様訪問時や面談時から要望や不安伺うよう努め継続し入居後面会時行う。	入居前に家族様の訪問や面談を行いながら、要望や不安を聞き取りをするように努める。入居後も情報提供を行う。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様、家族様の意見、要望を考慮し出来る限り本人様の希望に添えるよう努める。	利用者さんやご家族様の意見、要望を聞き出来る限り本人様や家族様の希望に添えるように努める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様と職員日々関わり会話していき入居者様を知り入居者様の自立促し日常生活の補助とし職員サポートする。	日々利用者さんとの関わりをしながら会話や日常生活を共にし、自立できるようにスタッフ同士でサポートする。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や面会時、電話での本人様の現状報告や本人様の訴え、家族様の事で言っておられた事を伝え間に入りいい関係が気づけて行けるようサポートする。	家族様には面会時や家族会に参加されたときに現状報告を行い、本人様の訴え等を伝えることで関係が気づけるようにサポートしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々が気軽に立ち寄れるような雰囲気と環境づくりに努めている。	近所の人や馴染みの方々が気楽に立ち寄れるように環境づくりに努めている。	友人知人、家族、教え子の方が同窓会の帰り等に面会に来られ、利用者のこれまでの状況を聞くことが出来る。その際にはお茶等接待している。携帯電話を使い家族と連絡をする方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の思いに寄り添い孤立されないよう声掛け他の入居者様との交流の場を作り関わり合えるよう支援している。	一人一人の思いを重視しながら入居者同士の関りが出来るよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご家族様からの相談に応じ関係大切にしている。また退所後連携医療機関へ入院されてる入居者様には面会に伺っている。	退所後もご家族様からの相談に応じ、関係を大切にしている。法人内に入院された方は時々面会に伺っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の思いや暮らし方の希望は本人様の意向を聞き全職員との連携図り把握し困難な場合はご家族様への意向聞き検討する。	入居者様の思いや暮らし方の希望は本人様の意向を聞き全職員との連携図り把握し困難な場合はご家族様への意向聞き検討する。	日常生活の中で思わぬ表情や動作から希望や意向を把握している。意思疎通が困難な場合は散歩、歩行訓練や友人や家族からこれまでの様子を聞き、本人に伝え、職員間で本人本位を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居時に本人様やご家族様より情報収集し入居後は行動、言動の観察、本人様とコミュニケーションをとり把握している。	入居前や入居時に本人様やご家族様より情報収集し職員で共有し、入居後は行動、言動の観察、本人様とコミュニケーションをとり把握している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察し表情や状態の変化を職員内で共有し把握に努めている。	日々の生活で状態の変化等を職員間で情報交換を行って現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来るだけ本人様、ご家族様意向聞きつつ、全職員、主治医、栄養管理部で話し合い、現状に応じた計画作成している。必要時PT、OT、STの意見も取り入れている。毎日の介護記録と照らしつつ毎月のモニタリングで評価している。	出来るだけ本人様、ご家族様意向聞きつつ、全職員、主治医、栄養管理部で話し合い、現状に応じた計画作成している。必要時PT、OT、STの意見も取り入れている。毎日の介護記録と照らしつつ毎月のモニタリングで評価している。	担当制をとっているが、職員は利用者の思いを共有している。日頃の関わりの中で思いや表情の変化、意見、アイデアも聞き入れ、申し送りノートも参考にし利用者、家族の希望に沿って計画を立てている。状況の変化の際には見直しを行っている。サービス計画はケアマネジャー、看護師、家族も参加され、希望に沿った計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や随時の職員の意見交換やミーティングを活用し計画についての見直しに努めている。	介護記録や随時の職員の意見交換やミーティングを活用し計画についての見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に迅速に対応している。	状況の変化に迅速に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や介護相談委員の方々の意見や地域の状況を聞き一人一人に合った地域支援が出来るよう努めている。	運営推進会議や介護相談委員の方々の意見や地域の状況を聞き一人一人に合った地域支援が出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 西棟 )	自己評価／ユニットB( 東棟 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人の母体が病院であり、グループホームで個人の状態に合わせ担当医が配置されているため問題ない。入居時に本人様、ご家族様の希望をうかがっており他の医療機関受診も看護師が付き合い対応する事もあり、より個人に合わせた支援している。	法人の母体が病院であり、グループホームで個人の状態に合わせ担当医が配置されているため問題ない。入居時に本人様、ご家族様の希望をうかがっており他の医療機関受診も看護師が付き合い対応する事もあり、より個人に合わせた支援している。	主治医の往診は2週間に一回、診断結果は随時家族に報告されている。急患や、夜間の対応は併設の病院から必要に応じて連絡や受診が出来る。家族も職員も心強く、また看護師に来てもらい応急処置行われている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	正看護師1名を配置して全職員日々の入居者様の変化、状態変化は随時連絡相談している。正看護師とは24時間連絡取れるようになっていて変化があれば法人内に受診しているため迅速なおかつ確実な支援ができています。	正看護師1名を配置して全職員日々の入居者様の変化、状態変化は随時連絡相談している。正看護師とは24時間連絡取れるようになっていて変化があれば法人内に受診しているため迅速なおかつ確実な支援ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前から変化は全職員随時看護師、管理者へ報告し家族様、医師へ連絡して密に連絡相談ができ情報交換を行っている。法人内の病院に入院時は時折面会に行き状態の変化の情報交換も行っており早期の退院にも受け入れ出来るよう努めている。	入院前から変化は全職員随時看護師、管理者へ報告し家族様、医師へ連絡して密に連絡相談ができ情報交換を行っている。法人内の病院に入院時は時折面会に行き状態の変化の情報交換も行っており早期の退院にも受け入れ出来るよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	病状が悪化したときは担当医師、家族様と協議、ホームでの対応範囲を説明し今後の支援、方針を決めている。	病状が悪化したときは担当医師、家族様と協議、ホームでの対応範囲を説明し今後の支援、方針を決めている。	契約時に重度化や、終末期について説明している。看取りの経験はないが体制は整っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 西棟 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 東棟 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホーム内で勉強会行っているが年に1回である。随時ミーティングをし急変しやすい入居者様、事故しやすい入居者様の対応をホーム看護師より報告し対応の仕方確認し全職員回覧板にて共有している。	ホーム内で勉強会行っているが年に1回である。随時ミーティングをし急変しやすい入居者様、事故しやすい入居者様の対応をホーム看護師より報告し対応の仕方確認し全職員回覧板にて共有している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行い病院の避難訓練にも参加している。月1回法人内の防火委員会に出席し協力体制を築いている。災害時の訓練は行っていないがマニュアルは作成している。	年2回避難訓練を行い病院の避難訓練にも参加している。月1回法人内の防火委員会に出席し協力体制を築いている。災害時の訓練は行っていないがマニュアルは作成している。	法人で2回、事業者で2回夜間想定も含め実施されている。利用者は自然災害のDVDを見たりされ、訓練に参加される方もある。避難場所は家族も周知されている。備蓄は法人で管理されている。非常時における地域との連携は充分とは言えない。	緊急時は隣接からの応援があると思われるが限界があり、地域の協力体制は欠かせない。運営推進会議の中で検討して頂き地域の参加協力を期待したい。また非常持ち出しの準備も必要とされる。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念に基づきその人らしさを尊重する為その方にあつた声掛け、対応の仕方を全職員ミーティングや随時の申し送りや情報交換し同じ対応で誇りやプライバシーを損ねないように心掛けている。	理念に基づきその人らしさを尊重する為その方にあつた声掛け、対応の仕方を全職員ミーティングや随時の申し送りや情報交換し同じ対応で誇りやプライバシーを損ねないように心掛けている。	利用者との会話のルールに沿って接遇の研修を行っている。その方に合った声掛けをし、佐賀弁も上手く使い思いが伝わっている。職員の気になる態度を見掛けると、ミーティングの中でスタッフのプライドにも気にかけてながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ本人様とコミュニケーション、を行い意思表示できやすいような質問や声掛け雰囲気づくりを心がけなるべく自己決定できるように努めている。	出来るだけ本人様とコミュニケーション、を行い意思表示できやすいような質問や声掛け雰囲気づくりを心がけなるべく自己決定できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 西棟 )	自己評価／ユニットB( 東棟 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のその方の暮らし方を観察し本人様のペースに合わせた暮らしにすするため意思を聞き支援していくよう努めている。	日々のその方の暮らし方を観察し本人様のペースに合わせた暮らしにすするため意思を聞き支援していくよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様、家族様の希望に沿って支援をし自力で出来る方は声掛けで促して出来ないところは意思を聞き支援している。随時理容室に依頼しホーム内にて散髪されてる。	本人様、家族様の希望に沿って支援をし自力で出来る方は声掛けで促して出来ないところは意思を聞き支援している。随時理容室に依頼しホーム内にて散髪されてる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を発表したりホーム内で作る食事のにおい感じてもらいながらホーム内で具材切ってもらったり、皿拭きしてもらったりお手伝いを通して食事の楽しみ感じてもらうよう支援に努めている。	食事の献立を発表したり一緒に食事をして食後は皿拭きしてもらったりお手伝いを通して食事の楽しみ感じてもらうよう支援に努めている。	ホームでは利用者の残存機能と特技を活かし、利用者はごはん、材料の切り出しや、みそ汁を自主的に手伝ってもらっている。行事食、赤飯、ひな祭り、七夕まんじゅう、梅酒、夏のかき氷等利用者の楽しみになっている。刻みや柔らかかさ、特食等に配慮し食べ易くしている。職員は同じ物は食べてないが各テーブルに付き食材の話、介助しながら対応されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の栄養管理部が献立した食事が提供でき担当医、看護師、栄養管理部の連携が図れその方の病状身体状況に合わせた支援ができるようにしている。	法人内の栄養管理部が献立した食事が提供でき担当医、看護師、栄養管理部の連携が図れその方の病状身体状況に合わせた支援ができるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの誘導声掛け、補助をし清潔に保つように努めている。舌が汚れやすかったりする方には舌ブラシを使用して頂いている。	毎食後口腔ケアの誘導声掛け、補助をし清潔に保つように努めている。舌が汚れやすかったりする方には舌ブラシを使用して頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを初期の段階で観察しながらその方の羞恥心や尊厳の考慮や排泄パターンを把握し自立支援を促し日中トイレで排泄してもらうよう促す。	一人一人の排泄パターンを初期の段階で観察しながらその方の羞恥心や尊厳の考慮や排泄パターンを把握し自立度に応じ声かけ誘導などの支援を行っている。	トイレは多く、各居室の近くに6ヶ所ある。昼間はおむつの方はいないが夜間はポータブルの使用もあり、ベッドの下のセンサーで管理されている。自立に向かって支援されており、パット交換や排泄物の処理や流し等自立されている方もおられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘ぎみの方が多いため日中の水分補給は全職員と連携を取りながら取ってもらい、可能な限り運動レクや腹部マッサージをしてもらうよう声掛け行ってる。	便秘での影響を職員全員理解しており、排便状態を把握し飲食物や薬、運動をその方に応じ取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在職員の促しで行っているが希望があれば応じられる環境は出来ている。	現在職員の促しで行っているが希望があれば応じられる環境は出来ている。	基本入浴は週2回。その日の気持ちを聞きながらの支援である。拒否された際には人、時間を変え、足浴、清拭、夏はシャワーで対応し、その人の好まれる事で希望に応じている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の要望や自己決定してもらうため声掛け行いその都度介助や誘導見守り行っている。体調を考慮して臥床を促し対応する場合もある。	入居者様の状態、状況に応じ支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ノートや薬ノートを活用し職員状態把握し、変更時や状態の変化時は随時連携病院の外来看護師やホーム内の看護師へ報告するよう努めている。	個人ノートや薬ノートを活用し職員状態把握し、変更時や状態の変化時は随時連携病院の外来看護師やホーム内の看護師へ報告するよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や日々の表情や行動、言動観察し本人様の意欲が増したり喜び感じられるよう職員意思を尊重し寄り添う支援をしている。	生活歴や日々の表情や行動、言動観察し本人様の意欲が増したり喜び感じられるよう職員意思を尊重し寄り添う支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブという行事を立て気温や天候と体調考慮し家族様の同意を得て予定は立てている。ご家族様との外出は時々見られてる。	車での外出が困難な方は入居者様の体調や天気に応じて外庭の散歩を行い気分転換を図っている。本人の希望を把握し家族様と協力し体調に応じて外出されている方もいる。	広い庭に出て日光浴、食事したり、薬局やゴミ出しに行っている。施設で子供の遊戯や太鼓の演技に出掛ける。ユニットは廊下で繋がっており、自由に行き来出来、交流がある。個人的な外出は家族の協力での外泊もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知的に所持が難しく困難だが使いたいや、欲しい物の要望ある際はご家族様へ連絡し使えるよう支援している。現在は家族が管理している。	少額ではあるが持っている事で安心される方は自分で所持されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人様希望時や不安な思い聞かれる時はやりとりできるようその都度支援している。手紙のやりとりは1名本人様の気分に合わせ郵便ボックスの中まで入れに行かれている。	本人様希望時や不安な思い聞かれる時はやりとりできるようその都度支援している。手紙のやりとりは1名本人様の気分に合わせ郵便ボックスの中まで入れに行かれている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(西棟)	自己評価／ユニットB(東棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内には居間の所へ入居者様と作った季節感感じられる飾り飾ったり、行動の制限はせず見守り声掛け行い出入りしやすいようにしている。	室内には居間の所へ入居者様と作った季節感、感じられる飾り飾ったり、行動の制限はせず見守り声掛け行い出入りしやすいようにしている。	南側の広い縁側にはテーブルがあり、リビングの片隅には戸棚や行事の際の写真、利用者で作られた季節の作品が展示されている。台所が近くにあり、匂いや、音も感じられ手伝い易くなっている。大きなガラス窓からの季節の景色が一面に見える。畳の部屋もあり、食後に寝転んだり、足の運動したり会話の場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の意思に合わせて誘導や介助行ってる、自分の過ごしやすいように生活して頂いてる。	個々の意思に合わせて誘導や介助行ってる。時々、絵本や遊び道具の声かけなどし思い思い過ごしやすいように生活して頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様やご家族様の好まれる居室になるよう努めている。	本人様やご家族様の好まれる居室になるよう努めている。	居室への持ち込みは多くはないがマッサージチェア、テレビ、家族の写真、居間で作った作品がありその人らしく、居心地いい部屋となっている。居室のドアは懐かしい木製で引き戸になっている。入口には造花をあしらった避難の目印となっている。ベットは低く動き易く、利用者の希望で畳の部屋や夫婦で入居できる部屋も用意されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日常生活が自立できるよう声掛け行い出来るだけ自分でして頂くよう支援している。安全と個人に合わせた自立しやすい環境づくりをしている。	日常生活が自立できるよう声掛け行い出来るだけ自分でして頂くよう支援している。安全と個人に合わせた自立しやすい環境づくりをしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		○	1. ほぼ毎日のように
		○		2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
		○	○	3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○		1. ほぼ全ての職員が
			○	2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない